

神戸市
【レベル4モビリティ・地域コミッティキックオフミーティング】

2026年8月20日(木)14:00～

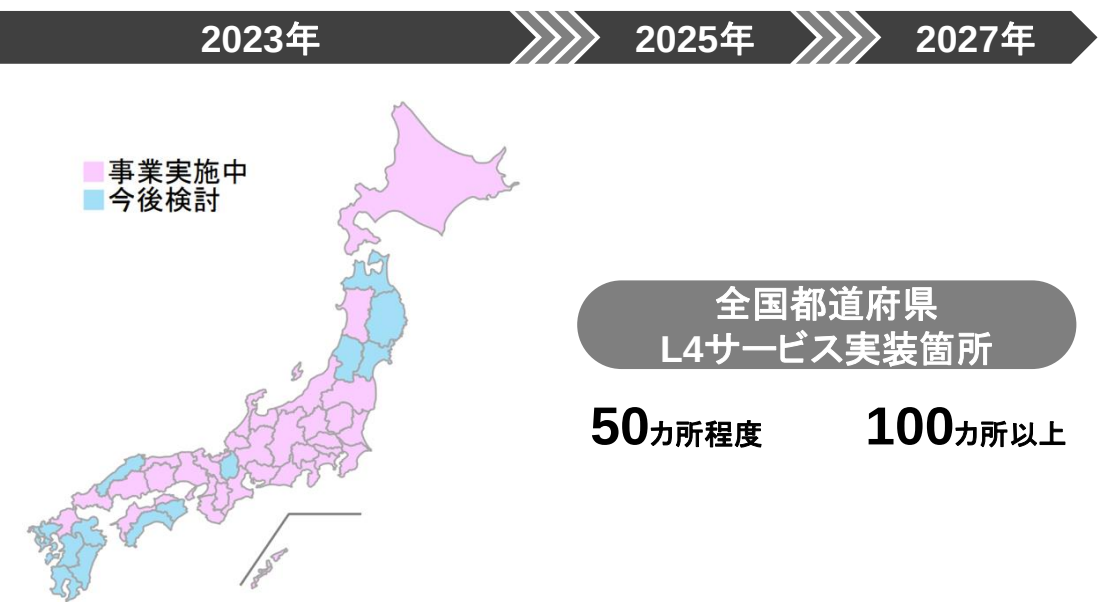
アジェンダ

1. レベル4モビリティ・地域コミッティの設置・目的
2. 地域コミッティの運営体制・構成員
3. 地域コミッティ運営スケジュール
4. 2026年度事業概要
5. L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ
6. 課題と対応方針
7. 今年度の具体的な実証スケジュール

レベル4モビリティ・地域コミッティについて

レベル4自動運転サービスの現状

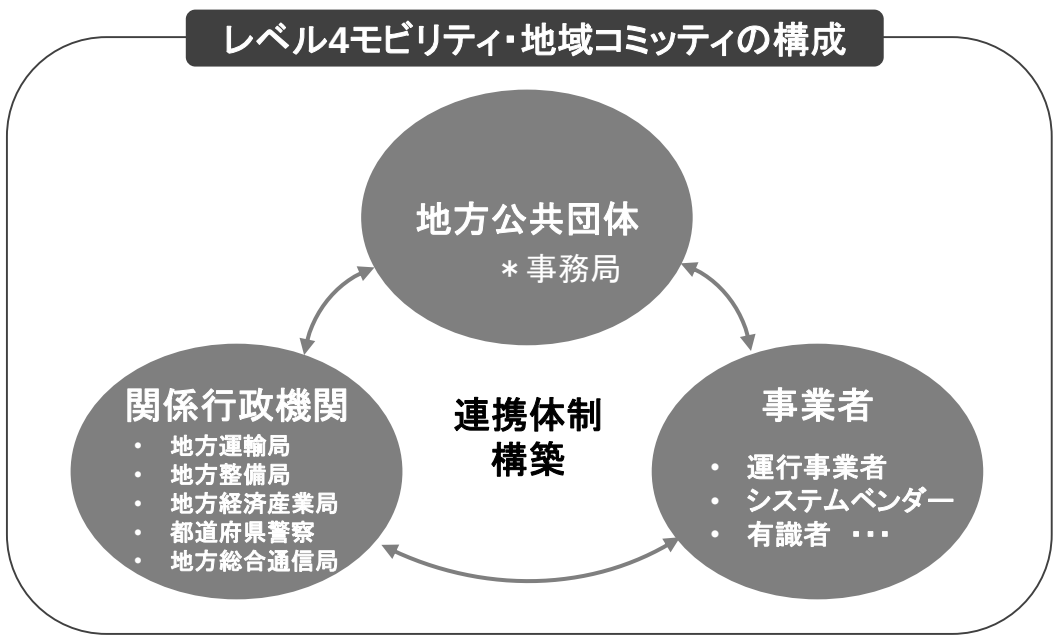
- 全国25年度の50カ所程度、27年度の100カ所以上サービス実装という目標達成に向けて、取組の加速が求められる
- そのためにも、各地域の受容性の向上と、透明性と公平性を確保しつつ許可等の手続きを迅速に進める必要がある



出典: 23年12月20日 デジタル行財政改革会議(第3回)
資料3 国土交通大臣提出資料

レベル4モビリティ・地域コミッティの目的

- 地域コミッティは、地方公共団体・関係行政機関・事業者による綿密な連携体制を構築することで、地域の受容性醸成を図りつつ手続の透明性・公平性を確保し、各地のレベル4自動運転サービスの実現を加速する



自動運転移動サービスの導入の背景・目的

■ 事業実施の背景・目的・目標

背景	- 人口減少・超高齢化の進行などによる生産年齢人口の減少により、一部のバス・タクシーの利用者が減少している。 また、運転手不足の問題も深刻化している。 - 一方、買い物やレジャーなどの多様な移動需要への対応、コミュニティ交通導入など、地域の足となる移動手段の確保が求められ、公共交通の維持・充実の重要性が高まっている。
目的	自動運転サービスによって、今後もより一層深刻化するであろう、バス・タクシーの運転手不足問題を解決し、公共交通の維持・充実を図り、地域の足となる移動手段を確保する。
目標	<短中期目標> - 灘五郷・酒蔵エリアにおいて実証実験を実施し、自動運転の技術向上と持続可能な収益モデルの形成およびコスト低減の検討を行い、同エリアでの社会実装を実現する。 <長期目標> - 将来的にニュータウン等の住宅エリアに横展開し、さらなるコスト低減策の検討・実装を推進し、生活の足として持続可能な自動運転サービスを実現する。  The map illustrates the planned expansion of the autonomous driving service. Step 1, 'Naniwa Sakurazaka' (灘酒蔵), is highlighted in red and includes the Naniwa-ku and Sakurazaka areas. Step 2, 'New Town' (ニュータウン), is indicated by orange dashed circles and includes the Nishi-ku, Nishinomiya-ku, and parts of the Chuo-ku and Minato-ku. The map also labels various districts: Kita-ku, Nishi-ku, Nishinomiya-ku, Chuo-ku, Minato-ku, and Naniwa-ku, as well as cities like Nishinomiya and Asahi. Arrows show the progression from Step 1 to Step 2.

アジェンダ

1. レベル4モビリティ・地域コミッティの設置・目的
2. 地域コミッティの運営体制・構成員
3. 地域コミッティ運営スケジュール
4. 2026年度事業概要
5. L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ
6. 課題と対応方針
7. 今年度の具体的な実証スケジュール

地域コミッティの構成員・役割

地域コミッティの構成員・役割は下記の通り

地域コミッティ構成員		役割	組織名/企業名	所属	役職	氏名
主宰者	地方自治体	レベル4 自動運転の社会実装に向けた全体統括	神戸市	都市局 交通政策課	部長 課長 係長	久保 真成 杉本 保男 榎井 敦 永井 由紀子
				地域協働局 SDGs推進課	課長 係長	林 順子 宮川 美咲
				経済観光局 ものづくり産業課	課長 係長	八木 美咲 田中 洋輝
必須構成員	地方運輸局	レベル4 車両認可に向けたサポート	国土交通省 近畿運輸局	自動車技術安全部 技術課	課長	福永 清治
	地方整備局	走行環境整備に係るサポート	国土交通省 近畿整備局	兵庫国道事務所	総括保全対策官	井田 卓
	地方経済産業局	モビリティ産業・地域経済活性化に係るサポート	経済産業省 近畿経済産業局	産業部 製造産業課	課長	小谷 純二
	都道府県警察	特定自動運行許可・道路使用許可に係るサポート	兵庫県警警察	交通部 交通企画課	課長	峯崎 孝徳
				交通部 交通規制課	課長	松江 大輔

地域コミッティの構成員・役割

地域コミッティの構成員・役割は下記の通り

地域コミッティ構成員		役割	組織名/企業名	所属	役職	氏名
必須 構成員	運行主体	運行に係る事項の 検討・推進	日産自動車株式会社	総合研究所モビリティ社会 & AI研究所	主任研究員	畑山 隼一
	地方自治体	レベル4 自動運転の 社会実装に向けた支援	神戸市	建設局 道路管理課	課長	田中 源太郎
				建設局 道路計画課	課長	中山 徹
				建設局 東部建設事務所	課長	森下 武浩
任意 構成員	実験エリア 管轄警察署	道路使用許可申請等 (実験エリア管轄警察署)	兵庫県警察	東灘警察署	署長	柴田 健一
				灘警察署	署長	植田 賢治
	関係事業者	運行に係る事項の支援	Moplus株式会社	商品技術部	ゼネラルマネージャー	渡辺 純
				営業部	デPUTY ゼネラルマネージャー	丹藤 玲
	オブザーバー		兵庫県タクシー協会		専務理事	下谷 富雄

アジェンダ

1. レベル4モビリティ・地域コミッティの設置・目的
2. 地域コミッティの運営体制・構成員
3. 地域コミッティ運営スケジュール
4. 2026年度事業概要
5. L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ
6. 課題と対応方針
7. 今年度の具体的な実証スケジュール

地域コミッティ 年間スケジュール

地域コミッティの設置は自動運転社会実装推進事業への申請の必要条件であるため、
地域コミッティの設置や中間・最終の取りまとめは自動運転社会実装推進事業と連携して実施



アジェンダ

1. レベル4モビリティ・地域コミッティの設置・目的
2. 地域コミッティの運営体制・構成員
3. 地域コミッティ運営スケジュール
4. 2026年度事業概要
5. L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ
6. 課題と対応方針
7. 今年度の具体的な実証スケジュール

2026年度事業概要【神戸市】

- 灘五郷・酒蔵エリアにおける観光移動の回遊性向上手段として、2027年度末からのレベル4による有償サービス実装
- 事業の特徴：駅及び観光施設間を結ぶオンデマンド配車モデルの提供を通じ、灘五郷・酒蔵エリアでの自動運転サービスの持続可能な収益モデルの形成と同地における運営体制の構築を行う。
 - 今年度取組：自動運転オンデマンド配車を通じた社会受容性を検証する。
2027年度の実装に向けた収益モデルの形成と運営体制の構築を図る。

■ 車両

- 「セレナ」(日産自動車)
- 乗員:4名
 - 速度:エリア内の制限速度に基づく
 - 台数:2台(予備含む)



■ 体制

- 運行主体 : 日産自動車(実証実験実施責任者)
- 運転手 : 車内
- 保安員 : 有

■ 事業の特徴

- 駅及び観光施設間を結ぶオンデマンド配車モデルの提供を通じ、灘五郷エリアでの自動運転サービスの持続可能な収益モデルの形成と同地における運営体制の構築を行う。
- 自動運転オンデマンド配車を通じ、サービスとしての社会受容性を検証。2027年度の実装に向け、収益モデルの形成と運営体制の構築を図る。

■ 運行ルート・運行期間／運行形式

- 駅及び観光施設間を結ぶオンデマンド配車モデル
- 自動運転レベル2での無償運行
- 運行期間: R8年12月8日～R8年12月18日の8日間(運行日: 火、水、木、金)



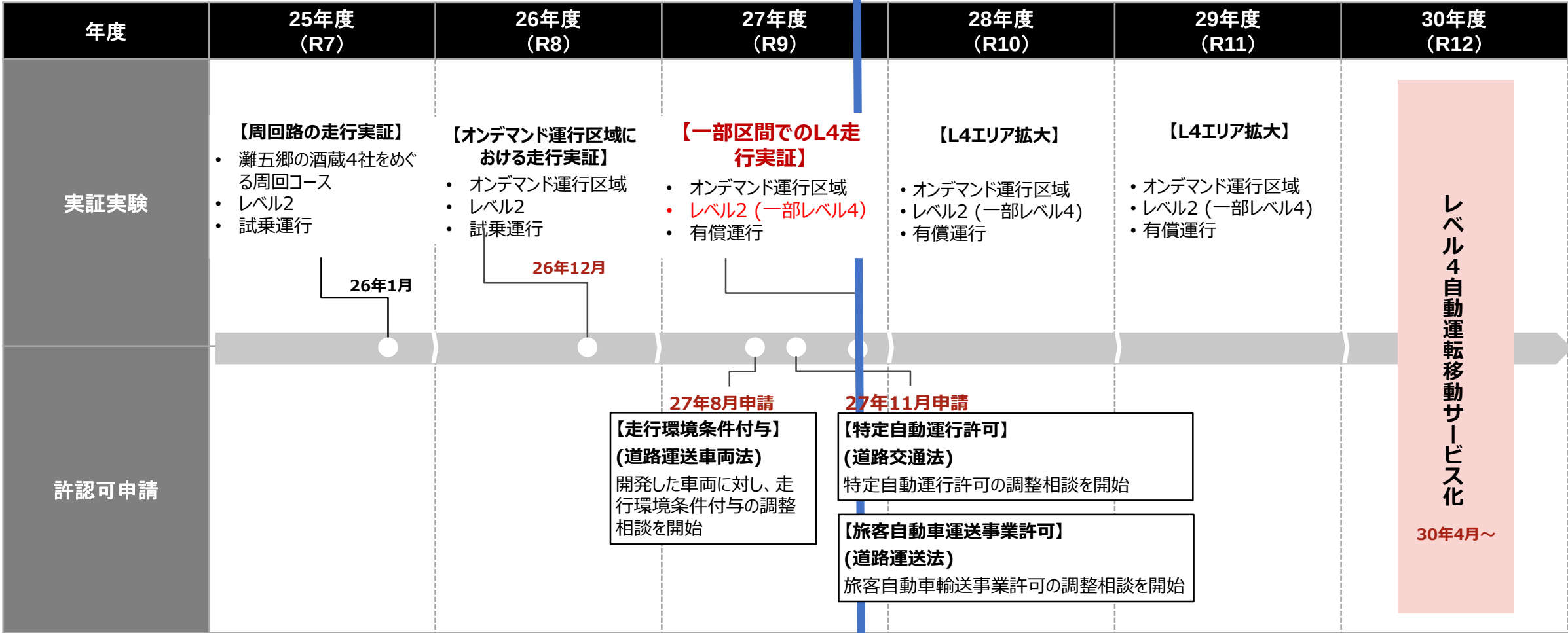
- 今年度の走行ルート
- 実証実験においてモニターが乗降する場所の候補(停車場所)
※ルート・停車場所とも変更する場合があります

アジェンダ

1. レベル4モビリティ・地域コミッティの設置・目的
2. 地域コミッティの運営体制・構成員
3. 地域コミッティ運営スケジュール
4. 2026年度事業概要
5. L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ
6. 課題と対応方針
7. 今年度の具体的な実証スケジュール

L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ

L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップを作成



認可完了し
社会実装 (有償運行) → 順次、レベル4 区域を拡大

L4運行概要【神戸市】

灘五郷・酒蔵エリアにおける観光移動の回遊性向上手段として、2027年度末からレベル4 + レベル2による有償サービス実装を目指し、それ以降はレベル4 区間を拡大していく予定

■ 車両

「セレナ」(日産自動車)

- 乗員: 4名(調整中)
- 速度: エリア内の制限速度に基づく
- 台数: 1台



(外装は変更予定)

■ 体制

- ベンダー : 日産自動車
- 運行主体 : 未定
- 特定自動運行主任者 : 車内
- 現場措置業務実施者 : 未定
- 特定自動運行保安員 : 未定

■ L4運行の特徴

- 専用の配車依頼アプリを使用した指定乗降地間の運行の一部区間についてL4走行を実施する
- 車両運行に際しては、下記の機能を用意
 - ✓ 車室内に、自動運転走行のシステム監視要員を配置
 - ✓ 乗客に対しては、現地事業者と連携した運行の安全監視と問合せ対応を、集中監視センターのオペレータより実施

■ 運行ルート・運行期間／運行形式

- 駅及び観光施設間を結ぶオンデマンド配車モデル
- 自動運転レベル2+レベル4での無償運行
- 運行期間: 2027年度内に運行開始し、それ以降はレベル4区間を拡大予定

タクシー型のため運行距離の概念無し



アジェンダ

1. レベル4モビリティ・地域コミッティの設置・目的
2. 地域コミッティの運営体制・構成員
3. 地域コミッティ運営スケジュール
4. 2026年度事業概要
5. L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ
6. 課題と対応方針
7. 今年度の具体的な実証スケジュール

L4許認可取得に向けた課題と対応方針

課題と対応方針は下記の通り

#	課題	対応方針	対応者	対応目処
1	L4自動運転の技術	横浜みなとみらい地区における実証実験で培った自動運転技術を用いた本エリアにおけるリスク要因の徹底的抽出と対応 天候・時間帯違いを考慮した網羅的な動作検証 緊急車両に対する退避方法	日産自動車	2027/8
2	遠隔監視	走行範囲全域での安定した高速・低遅延通信の確保 要員派遣の判断シーケンスと訓練	日産自動車	2027/8
3	緊急時対応	遠隔監視体制と連携した事故、故障時、及びお客様体調不良時の対応シーケンスと訓練。	日産自動車	2027/8

社会実装に向けた課題と対応方針（許認可取得以外）

課題と対応方針は下記の通り

#	課題	対応方針	対応者	対応目処
1	認知拡大・理解促進	実証実験を十分にPRすることで、多くの人に認知してもらう機会を増やす	日産自動車/神戸市	2026年12月
2	走行環境の維持・構築に向けた合意形成及び社会受容性向上	地域住民、酒蔵等関係者への説明会、及び試乗運行、試乗後のアンケートを実施し、結果の検証を行う	日産自動車/神戸市	2026年12月
3	事業成立性の見通し策定:収益サイド	現在の事業計画における事業成立性を検討 ・利用人数、需要のポテンシャルの検討 ・価格受容性の検討 ・収益機会の検討(酒蔵ツアーパッケージ提案等)	日産自動車/神戸市	2027年度
4	事業成立性の見通し策定:コストサイド	・集中遠隔監視により、複数拠点を用意せずに遠隔監視業務を実施 ・その他運営諸経費のコスト削減策の検討	日産自動車	2028年度
5				

アジェンダ

1. レベル4モビリティ・地域コミッティの設置・目的
2. 地域コミッティの運営体制・構成員
3. 地域コミッティ運営スケジュール
4. 2026年度事業概要
5. L4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ
6. 課題と対応方針
7. 今年度の具体的な実証スケジュール

今年度の事業実施スケジュール

今年度の事業実施スケジュールを作成

大項目	小項目	26年									27年			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
マイルストーン									● (中間報告)			● 最終報告		
1.体制構築	体制構築・キックオフ		→											
2.実証実験準備	リスクアセスメント			→										
	開発(車両、遠隔監視)				→									
	運用マニュアル作成						→							
	試乗モニター募集							→						
3.実証実験実施	モニター試乗									→				
	走行検証									→				
4.事業性分析	関係者声かけ・キックオフ		→											
	技術的課題・事業性分析・論議				→									
	事業性提案							→						
5.結果報告	報告書作成								→					
	最終報告									→				
	次年度の方向性検討											→		